

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【公開番号】特開2010-223295(P2010-223295A)

【公開日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2010-040

【出願番号】特願2009-70027(P2009-70027)

【国際特許分類】

F 16 H 48/28 (2012.01)

F 16 H 48/30 (2012.01)

【F I】

F 16 H 48/28 E

F 16 H 48/30 E

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

回転部材からなる保持部材によって自転可能に保持された第1ギヤ部材、及び前記第1ギヤ部材にそれぞれ噛合する第2ギヤ部材、第3ギヤ部材を備え、前記第1ギヤ部材、前記第2ギヤ部材、前記第3ギヤ部材及び前記保持部材を介して車両の駆動源の駆動力を1対の出力軸に分配する車両用差動装置であって、

前記保持部材、前記第2ギヤ部材及び前記第3ギヤ部材の少なくともいずれかの部材は、複数のエレメントによって分割形成され、前記複数のエレメントのうち互いに隣接する2つのエレメント間に、前記駆動力を受けて前記1対の出力軸の軸線方向にスラスト力を発生させるヘリカルスライド、及び前記車両のドライブモード、コーストモードのいずれかのモードにおいて前記2つのエレメントの軸方向に沿う前記スラスト力による相対移動を規制する相対移動規制部を有する

車両用差動装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明は、上記目的を達成するために、回転部材からなる保持部材によって自転可能に保持された第1ギヤ部材、及び前記第1ギヤ部材にそれぞれ噛合する第2ギヤ部材、第3ギヤ部材を備え、前記第1ギヤ部材、前記第2ギヤ部材、前記第3ギヤ部材及び前記保持部材を介して車両の駆動源の駆動力を1対の出力軸に分配する車両用差動装置であって、前記保持部材、前記第2ギヤ部材及び前記第3ギヤ部材の少なくともいずれかの部材は、複数のエレメントによって分割形成され、前記複数のエレメントのうち互いに隣接する2つのエレメント間に、前記駆動力を受けて前記1対の出力軸の軸線方向にスラスト力を発生させるヘリカルスライド、及び前記車両のドライブモード、コーストモードのいずれかのモードにおいて前記2つのエレメントの軸方向に沿う前記スラスト力による相

対移動を規制する相対移動規制部を有する車両用差動装置を提供する。